

広島市感染症週報

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

コメント

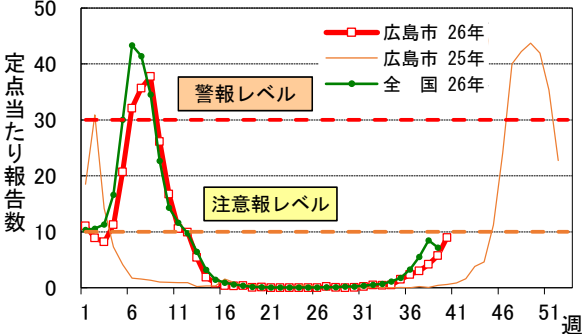
1 インフルエンザ

定点当たり8.97人の報告がありました。注意報レベル(定点当たり10.0人)には達していませんが、増加が続いており、注意が必要です。

また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が第40週に10件報告され、今シーズンの累計は17件となりました。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。(次ページ参照)

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による)
第40週 A型:61人、B型:0人

インフルエンザの流行状況



2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり0.56人の報告がありました。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を心がけましょう。

3 感染性胃腸炎

定点当たり4.81人の報告がありました。感染予防のため、便・吐物は適切に処理しましょう。また、トイレの後、便・吐物を処理した後、調理の前、食事の前など、せっけんと流水でこまめに手を洗いましょう。

定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1724	50.71			小児科	突発性発しん	4	0.19	0.25	
	インフルエンザ	305	8.97	1.19			ヘルパンギーナ	6	0.29	0.87	
	新型コロナ(COVID-19)	19	0.56				流行性耳下腺炎	1	0.05	0.03	
小児科	RSウイルス感染症	10	0.48	0.46		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	咽頭結膜熱	5	0.24	0.19			流行性角結膜炎	1	0.13	1.03	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	0.62	1.32		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	101	4.81	2.71			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	2	0.10	0.07			マイコプラズマ肺炎	8	1.33	2.00	
	手足口病	20	0.95	1.48			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.23			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

前週(第39週)は、シルバーウィークの休診により、報告数が影響を受けている可能性があり、今週(第40週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	105	60歳代、80歳代
4	レジオネラ症	2	27	60歳代、70歳代
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	2	80歳代
5	梅毒	3	92	10歳代、30歳代、40歳代
5	百日咳	1	29	10歳未満

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第36週	第37週	第38週	第39週	第40週	急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	(COVID-19)	新型コロナウイルス	RSウイルス	咽頭結膜熱	球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
報告数	広島市	1,512	81	26	6	3	15	98	4	20	-	2	12	1	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,820	102	67	10	8	29	115	5	15	-	7	12	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		2,033	143	50	18	4	30	110	2	13	-	6	3	1	-	1	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,476	195	31	12	4	13	86	2	13	-	3	11	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		1,724	305	19	10	5	13	101	2	20	-	4	6	1	-	1	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	44.47	2.38	0.76	0.29	0.14	0.71	4.67	0.19	0.95	-	0.10	0.57	0.05	-	0.63	-	-	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		53.53	3.00	1.97	0.48	0.38	1.38	5.48	0.24	0.71	-	0.33	0.57	-	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		59.79	4.21	1.47	0.86	0.19	1.43	5.24	0.10	0.62	-	0.29	0.14	0.05	-	0.13	-	0.17	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		43.41	5.74	0.91	0.57	0.19	0.62	4.10	0.10	0.62	-	0.14	0.52	-	-	0.25	-	-	0.17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		50.71	8.97	0.56	0.48	0.24	0.62	4.81	0.10	0.95	-	0.19	0.29	0.05	-	0.13	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全国	第38週	66.27	8.47	2.65	1.24	0.25	1.48	3.70	0.22	1.36	0.03	0.30	1.31	0.04	0.01	0.63	0.02	0.05	0.55	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		41.84	7.17	1.25	0.84	0.15	0.72	2.22	0.16	0.75	0.02	0.19	0.59	0.03	-	0.51	0.02	0.05	0.52	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-

■ 新たに判明した病原体検出状況 感染症発生動向調査に基づく病原体定点医療機関からの搬入分(ARI分を除く)のみ掲載

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱(39.2℃) 咽頭炎 筋力低下	1	2026/07/14	咽頭拭い液 糞便	コサッキーウイルスA6型 パレコウイルス1型
その他の消化器疾患	発熱(37.5℃) 咽頭炎 肝機能障害 咳嗽	1	2026/08/05	咽頭拭い液	ライノウイルス EBウイルス

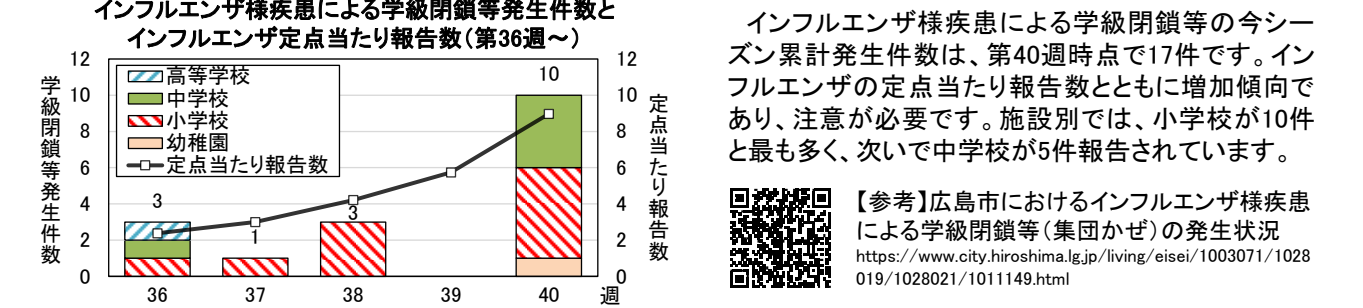
(検査: 広島市衛生研究所)

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス) 感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H1pdm09	インフルエンザウイルス A H3	B型インフルエンザウイルス (ヒクトリア系統)	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモ ウイルス	パラインフルエンザ ウイルス1型	パラインフルエンザ ウイルス2型	パラインフルエンザ ウイルス3型	パラインフルエンザ ウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第35週	17	15	3	2			2	1			3		3		7		
第36週	17	14	3					1		1			1	1	8	2	3
第37週	15	14	1	2			1			1	2		1		6	1	
第38週	16	16	2				3	1	1		1				5	4	4
第39週	5	4												1	2		1

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む (検査: 広島市衛生研究所) 詳しくはホームページで [広島市 病原体](#) 🔍 検索

【参考】インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の発生状況(広島市)



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>

【問い合わせ先】
広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp